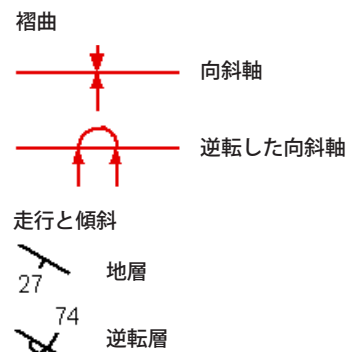
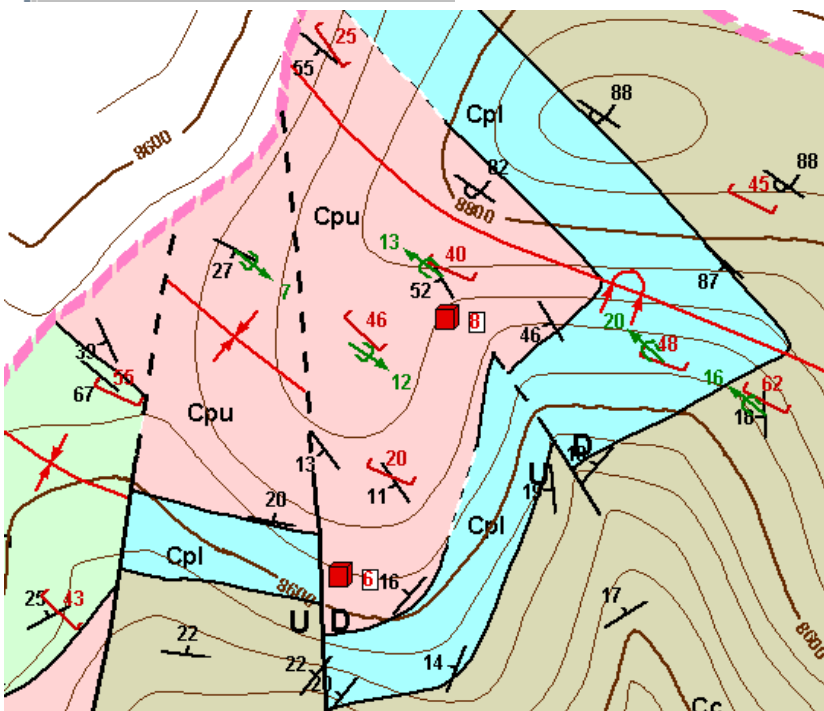


# カートスクリプト

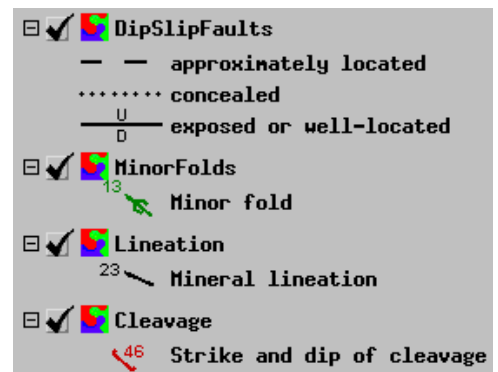
ご存知でしたか?... カートスクリプト (Cartoscripts) を使えば、ベクタのポイントやラインに対してユーザ独自の地図記号を作成できます。

## カートスクリプトを使うことによって...

- さまざまな描画関数を使ってユーザ独自の地図記号を作成できます。
- ラインの描画関数を使うと、シンボルをラインに沿って繰り返し描画します。
- データベース属性に従ってさまざまなスタイルや向きでシンボルを描画できます。
- データベースのテキストを使ってシンボルにラベルを付けることができます。
- 凡例中にカートスクリプトによるスタイルのサンプルを表示できます。



印刷用レイアウトにおけるカートスクリプトのサンプル



凡例表示におけるカートスクリプトのサンプル

## カートスクリプトを使う方法

- ベクタオブジェクトのポイントまたはラインに対して、[スタイル (Style)] メニューから [スクリプトを使用 (By Script)] を選択します。
- [スタイル] の [指定 (Specify)] ボタンを押して、[クエリエディタ (Query Editor)] ウィンドウを開きます。(V2011 では [編集 (Edit)] ボタンから <スクリプトエディタ (Script Editor)> ウィンドウが開きます。)
- カートスクリプトの関数を使って描画演算やラインの表示を定義します。
- 必要とされるデータベース属性への参照を TABLE.FIELD の形で含めます。
- スクリプトは各要素に対して個別に計算されます。
- 凡例サンプルを作るには、代表的なベクタ要素を選択して、右クリックして出たメニューから、[アクティブを凡例に加える (Add Active to Legend)] を選択します。

## さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください：  
**カートスクリプトの使用**  
 (Using CartoScripts)

(翻訳) 株式会社 オープン GIS  
 東京都墨田区吾妻橋 1-19-11  
 紀伊国屋ビル 1F  
 Tel: (03)3623-2851  
 Fax: (03)3623-3025  
 E-mail: info@opengis.co.jp

